

オリジナルトランプゲーム

ババ抜き改 あるいは ペアナンバー

山札は52枚、ジョーカーは使わない。
プレイヤーは3人～4人あるいはそれ以上が好ましい。

まず52枚のトランプをシャッフルする。
この全てのカードをプレイヤーに分配する。
各プレイヤーはこのカードを手札とする。
プレイヤーは何かの方法で最初に手番を実行するプレイヤーを決めておく。
手番は最初のプレイヤーから時計回りでまわす。

カード配布後、すぐに全てのプレイヤーは「最初のカード捨て」を行ってもよい。手札にある中で数字がペアになっているカードを好きな順序で捨てることができる。

各プレイヤーは、自分の手番が来たら、次の①と②をおこなう。

①自分の右手側にいるプレイヤーの手札からカードを1枚引く

②手札にあるカードの中で、数字が同じものがあれば、それ2枚をペアとして自分専用の手札捨て場に捨てることができる。1度に複数のペアを捨てても構わない。捨てたカードは捨てられた順に置くこと、順番をずらしたりしてはならない。

捨てられたカードは、ゲームに参加する全てのプレイヤーが見てもよい。

①と②が終了したら、次のプレイヤーの手番となる。

最終的にプレイヤー全員が手札を無くせばゲーム終了。
次に各プレイヤーの点数を計算し、点数が一番高い人がゲームの勝者となる。

点数の計算方法

- *捨て札を見て、数字が連続している捨て札があると、1つにつき1点。
- *捨て札の数字が同じものがあれば(つまり同じ数字のカードが4枚くっついて捨てられている状態)2点。
- *最初に全てのカードを捨てたプレイヤーは、点数を2倍にして計算できる。

例

ゲーム終了後、各プレイヤーは自分の捨て札を見た。

A氏は55、66、88、KK、JJ、22、77、だった。
連続している部分は、55、66 だけだったので点数は1点。

B氏はKK、AA、22、44、99、88 だった。
連続している部分はKK、AA、22 と99、88 である。
KK、AA、22 の点数は2点。99、88 の部分は1点である。
合計して、B氏は3点である。

C氏は66、55、44、1010、QQ、AA だった。
連続している部分は66、55、44、なので、点数は2点。
ただ、彼はこのゲームで一番に手札を無くしていた(あがっていた)
ので、点数が2倍になる。したがって点数は4点である。

D氏は33、33、77、22、JJ だった。点数になるのは最初の33、33 だけだが、同じ数字なので2点。

捨てカードが22、33、44、33、22、AA、KK である場合、点数は6点。
点数計算後、点数を各自報告し、一番点が高かったプレイヤーが勝利者となる。

作 ほっかいしまうま